

地域における新型コロナウイルスワクチン接種体制構築に関する

好事例・課題の情報共有について

好事例

三重県志摩医師会（令和3年6月2日）

志摩市では約18,000人が65才以上であり、また、地域の病院も少ない事から集団接種のみでの取り組みとなっております。出務する医師・看護師は地域の診療所からである事から、接種日は木曜日午後～4時間、土曜日午後～4時間、日曜日1日7時間で予定し希望者全員が3週間で1回目を終わられるように予定を組みました。コールセンター予約やWEB予約を利用せず、ハガキでの意向調査によって希望曜日・希望会場等を調査し、調査の希望に基づいて市から接種希望者へ「接種日：○月○日 ○時○○会場」と来場等の予約日を知らせました。予約日変更は市のコールセンターで受付け、希望調査で回答していない場合でも接種を希望する人はコールセンターで受け付けました。

高齢者の負担にならないように、各地区の公民館等を利用し5会場を接種会場とし、大きい会場では問診担当5名：接種担当3名の4時間で約1,000人の接種を行い、1週間で約6000人の接種を終えています。問診の前に市の職員による予診票確認を行い、記入漏れチェック、薬剤師との相談、アレルギーやアナフィラキシーのある方・血液サラサラの薬を内服・エタノール禁忌の方と3項目の方にはそれぞれ決まった色のリストバンドを巻いていただく事で、問診・接種がスムーズになっています。接種者には見える場所に番号シールを貼っていただく事で、各場所での通過確認ができ、ミスを防いでいます。

各会場に車椅子や、老人車（押し車）等のレンタルによる配備により会場でもスムーズに移動していただいています。ワクチン充填ではミスのないように医師・看護師のみによる充填作業とし、全ての工程においてダブルチェックが働く仕組みとしました。

余剰ワクチンは高齢者施設と連携し破棄数はゼロとなっています。会場での混乱やミスを防ぐ為、5月20日から開始し希望者約17,000人の1回目接種を3週間で終え、6週間で2回目接種完了（6月27日終了）となっております。

在宅患者・高齢者施設入所者へも調査を行い、余剰ワクチンが出ないように割り振りを行っていません。医療従事者接種から行政と連携し集団接種で行う事により、高齢者接種へ有効なシミュレーションとなり1時間での接種人数や配置スタッフの手順等が明確になり、高齢者接種への準備が円滑に進められたと思います。